



木造建築物接合部性能証明書

技術名称：部材相互を緊結する部分に用いるワレネール 34×75 くぎ

申込者：株式会社カナイ 代表取締役 金井 亮太
埼玉県八潮市西袋 717-1

本技術は下記の構造性能を有することを証明する。

平成 25 年 5 月 30 日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 辻 文三
記



接合具及び緊結方法：

接合具の名称：ワレネール 34×75 くぎ
緊結方法：緊結方法の概要は別添評価報告書に記載

適用範囲： 枠組壁工法構造用製材の日本農林規格に規定する枠組材を用いて部材相互を緊結する部分

構造性能： くぎの曲げ試験により得られた曲げ降伏モーメントから求めた短期許容せん断耐力

証明方法： 申込者より提出された資料により、本接合部の性能証明を行った。

- (1) 短期許容せん断耐力は、「2007 年枠組壁工法建築物構造計算指針：(社)日本ツーバイフォー建築協会」の第 V 編第 1 章 1.2.2 (1) に示される接合具の曲げ試験方法に準じて行われた別添評価報告書の試験結果(資料 1、資料 2)に基づくものである。
- (2) 短期許容せん断耐力は、くぎの打ち方に応じた低減係数が 1.0 (平打ち) の場合で、接合具の曲げ試験により得られた曲げ降伏モーメント及び緊結される部材の樹種群が S-P-F のめり込み終局強度の下限値から算出されるくぎ接合部の 1 面せん断降伏耐力に安全係数 (2/3) を乗じて求めた。



木造建築物接合部性能証明書

技術名称：部材相互を緊結する部分に用いるワレネール 38×90 くぎ

申込者：株式会社カナイ 代表取締役 金井 亮太
埼玉県八潮市西袋 717-1

本技術は下記の構造性能を有することを証明する。

平成 25 年 5 月 30 日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 辻 文三
記



接合具及び緊結方法：

接合具の名称：ワレネール 38×90 くぎ
緊結方法：緊結方法の概要は別添評価報告書に記載

適用範囲： 枠組壁工法構造用製材の日本農林規格に規定する枠組材を用いて部材相互を緊結する部分

構造性能： くぎの曲げ試験による値から求めた短期許容せん断耐力

証明方法： 申込者より提出された資料により、本接合部の性能証明を行った。

- (1) 短期許容せん断耐力は、「2007 年枠組壁工法建築物構造計算指針：(社)日本ツーバイフォー建築協会」の第 V 編第 1 章 1.2.2 (1) に示される接合具の曲げ試験方法に準じて行われた別添評価報告書の試験結果(資料 1、資料 2)に基づくものである。
- (2) 短期許容せん断耐力は、くぎの打ち方に応じた低減係数が 1.0 (平打ち) の場合で、接合具の曲げ試験により得られた曲げ降伏モーメント及び緊結される部材の樹種群が S-P-F のめり込み終局強度の下限值から算出されるくぎ接合部の 1 面せん断降伏耐力に安全係数 (2/3) を乗じて得られた値である。